

ザイティガ®投与中チェックシート

チェック項目の詳細、モニタリングの頻度は、「ザイティガ®適正使用ガイド」及び「ザイティガ®マネジメントブック –注意すべき鉱質/糖質コルチコイド関連副作用–」をご参照ください。

肝機能*	ALT、AST値がULNを超える	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤投与継続に適合します。
		<input type="checkbox"/> はい	ULN2.5倍までの上昇 →肝機能検査の頻度を上げて実施してください。 ULN2.5倍を超え5倍までの上昇→週1回以上の頻度で肝機能検査を実施してください。 ULN5倍を超え20倍までの上昇 →本剤の休薬/減量の目安を参考に対応してください。 ULN20倍を超える上昇 →本剤の投与を中止してください。
肝機能*	総ビリルビン値がULNを超える	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤投与継続に適合します。
		<input type="checkbox"/> はい	ULN1.5倍までの上昇 →肝機能検査の頻度を上げて実施してください。 ULN1.5倍を超え3倍までの上昇→週1回以上の頻度で肝機能検査を実施してください。 ULN3倍を超え10倍までの上昇 →本剤の休薬/減量の目安を参考に対応してください。 ULN10倍を超える上昇 →本剤の投与を中止してください。
血小板	血小板数が投与前より減少した 又は 出血症状を認めた	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤投与継続に適合します。
		<input type="checkbox"/> はい	本剤の投与中止や血小板輸血など、適切な処置を行ってください。
電解質	血清カリウム値が 3.5mEq/L未満**になった	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤投与継続に適合します。
		<input type="checkbox"/> はい	カリウム補給、本剤の休薬、原因の検索と是正など、適切な処置を行ってください。
耐糖能	随時血糖が200mg/dLを超えた 又は HbA1cが7.0%を超えた	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤投与継続に適合します。
		<input type="checkbox"/> はい	随時血糖: 200mg/dL、HbA1c: 7.0%を上限の目安としたコントロールが望ましいです。専門医へ相談してください。
一般所見	血圧が投与前より上昇した	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤投与継続に適合します。
		<input type="checkbox"/> はい	原因を検索し、適切な処置を行ってください。
	体液貯留/浮腫を認めた (体重が投与前より増加した)	<input type="checkbox"/> いいえ	本剤投与継続に適合します。
		<input type="checkbox"/> はい	原因を検索し、適切な処置を行ってください。
併用薬	利尿薬 ループ利尿薬 フロセミド トラセミド アゾセミド等 サイアザイド系利尿薬 トリクロルメチアジド等 浸透圧利尿薬 D-マンニトール、グリセオール®	<input type="checkbox"/> いいえ	左記の薬剤の併用を開始した。 本剤投与継続に適合します。
	その他 インスリン グリチルリチン含有薬 甘草含有漢方 グリチロン® 抗生物質 アムホテリシンB ポリミキシンB カルベニシリン ペニシリン等 抗パーキンソン病薬 下剤(長期服用時)	<input type="checkbox"/> はい	低カリウム血症を引き起こす可能性がある薬剤です。 血清カリウム値の頻回な測定を行い、 低カリウム血症に関連する症状を特に注意して観察してください。

* 添付文書の【用法及び用量に関連する注意】に該当します。

本剤投与中に肝機能検査値の上昇が認められた場合には、添付文書の休薬、減量、再開及び中止の目安を参照してください。

** 国内臨床試験における患者選択基準です。あくまで目安として参考にしてください。

ULN: 施設基準値上限

■ザイティガ®中止後の注意点

ザイティガ®中止後にプレドニゾロンの投与を中止する場合、「ザイティガ®適正使用ガイド」及び「ザイティガ®マネジメントブック –注意すべき鉱質/糖質コルチコイド関連副作用–」を参照のうえ、漸減(Tapering)による減量の後、中止することを検討してください。